



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月7日

上場会社名 株式会社昭和真空 上場取引所 東
コード番号 6384 URL <https://www.showashinku.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 田中 彰一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 杉山 茂紀 TEL 042-764-0392
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,330	56.1	△50	—	△44	—	△41	—
2025年3月期第1四半期	852	△4.2	△101	—	△112	—	△95	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △110百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 6百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△6.66	—
2025年3月期第1四半期	△15.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	14,368	11,043	76.9	1,791.30
2025年3月期	15,451	11,590	75.0	1,879.99

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 11,043百万円 2025年3月期 11,590百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	4,000	54.4	90	775.9	90	—	44	7.14
通期	9,500	12.0	800	1.0	840	0.3	570	92.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	6,499,000株	2025年3月期	6,499,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	333,949株	2025年3月期	333,949株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	6,165,051株	2025年3月期1Q	6,162,218株

2026年3月期1Qの期末自己株式数には、「従業員株式給付信託(J-ESOP)」の信託財産とし(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式63,300株が含まれております。また、(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件などについては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	11
3. 補足説明	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2025年4月1日～2025年6月30日)における世界経済は、地政学的リスクや米国による関税引き上げやその後の政策の不確実性の高まりなどを受けて、持ち直しの動きが緩やかになりました。

わが国経済は、雇用・所得環境や企業業績の改善などを背景に緩やかな回復基調となりましたが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクの高まりに加え、物価上昇の継続による消費者マインドへの影響がわが国の景気を下押しするリスクとなっており、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、主要取引先である電子部品メーカーにおける在庫調整は概ね一巡しました。しかし、業界ごとの需要回復にはばらつきがあり、生産活動の回復ペースは依然として緩やかに推移しました。

こうした環境の中、当社グループは、国内外デバイスメーカーの生産状況や次世代製品開発動向の把握に努め、適時に適切な製品提案をするとともに、顧客からのサンプル作製依頼や顧客との共同開発に積極的に取り組むことで、電子部品業界を中心とした新規先からの受注を獲得しました。

生産面では、受注残及び受注予定案件を見据えた生産体制を整えるなど効率的な生産に努め、顧客への納品に注力しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、受注高は18億75百万円(前年同四半期比48.3%減)、売上高は13億30百万円(同56.1%増)となりました。損益につきましては、経常損失44百万円(前年同四半期は1億12百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失41百万円(前年同四半期は95百万円の損失)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の受注高は14億77百万円(前年同四半期比51.3%減)、売上高は9億4百万円(同177.8%増)、セグメント利益は1億1百万円(前年同四半期は60百万円の損失)となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

(水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、世界のスマートフォン出荷台数が回復基調にあることや自動車向け水晶デバイス市場が成長していることなどを受け、デバイスメーカーの設備稼働率は回復傾向となりましたが、市場全体での活発な増産設備投資には至りませんでした。

水晶デバイス装置の受注高は2億54百万円(前年同四半期比27.2%減)、売上高は29百万円(同70.8%減)となりました。

(光学装置)

光学業界では、スマートフォンの出荷台数は回復基調にあるものの、デバイスメーカーの増産設備投資は市場全体では低調に推移しました。

光学装置の受注高は1億5百万円(前年同四半期比95.0%減)、売上高は7億99百万円(前年同四半期は12百万円のマイナス)となりました。前年同四半期売上高がマイナスとなっている理由は、海外子会社との内部取引に関する連結調整によるものです。

(電子部品装置・その他装置)

電子部品業界においては、新規先を含め様々な用途に向けた営業を行うとともに、顧客との共同開発や顧客からのサンプル作製依頼に積極的に取り組むことを通じて引合い案件の増加に努め、新規先からの受注を獲得しました。

電子部品装置・その他装置の受注高は11億17百万円（前年同四半期比90.5%増）、売上高は75百万円（同68.2%減）となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、ユーザーに対する定期的な稼働状況確認による潜在ニーズの掘り起こしや顧客への生産性向上提案による装置の改造工事、保守・メンテナンス受託や消耗品販売に努めました。

サービス事業の受注高は3億97百万円（前年同四半期比32.8%減）、売上高は4億25百万円（同19.1%減）、セグメント利益は82百万円（同42.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は106億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億85百万円減少しました。これは主に仕掛品が3億18百万円増加したものの、売掛金が11億29百万円、電子記録債権が2億98百万円減少したことによるものです。固定資産は37億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円増加しました。これは主に繰延税金資産が4百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は143億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億83百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は23億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億53百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が1億31百万円増加したものの、未払法人税等が2億93百万円、電子記録債務が2億82百万円、賞与引当金が1億66百万円減少したことによるものです。固定負債は9億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円増加しました。これは主に退職給付に係る負債が8百万円、長期リース債務が5百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は33億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億36百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は110億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億46百万円減少しました。これは主に利益剰余金が4億77百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は76.9%（前連結会計年度末は75.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2025年5月12日付「2025年3月期決算短信」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

当社グループを取り巻く市場動向を注視し、連結業績予想数値に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,978,440	5,218,932
受取手形	9,813	2,656
電子記録債権	475,143	176,598
売掛金	3,464,223	2,334,390
商品及び製品	745	745
仕掛品	2,143,234	2,462,163
原材料及び貯蔵品	364,266	309,511
その他	290,856	135,706
貸倒引当金	△1,422	△1,359
流動資産合計	11,725,302	10,639,346
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	898,152	879,522
機械装置及び運搬具（純額）	139,412	206,280
土地	1,970,562	1,970,562
建設仮勘定	52,741	3,158
その他（純額）	88,687	88,298
有形固定資産合計	3,149,555	3,147,820
無形固定資産		
リース資産	1,723	1,400
その他	68,268	64,574
無形固定資産合計	69,991	65,974
投資その他の資産		
投資有価証券	173,248	179,814
繰延税金資産	241,440	246,062
退職給付に係る資産	69,899	67,600
その他	22,944	22,517
貸倒引当金	△981	△981
投資その他の資産合計	506,550	515,012
固定資産合計	3,726,096	3,728,808
資産合計	15,451,399	14,368,154

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	565,494	697,477
電子記録債務	703,547	421,252
リース債務	7,246	8,610
未払費用	210,636	186,131
未払法人税等	303,101	9,130
前受金	675,519	653,062
賞与引当金	243,501	77,036
役員賞与引当金	56,000	14,250
製品保証引当金	69,000	63,000
工事損失引当金	32,700	53,200
その他	44,113	174,303
流動負債合計	2,910,860	2,357,456
固定負債		
社債	450,000	450,000
長期借入金	100,000	100,000
リース債務	11,333	16,851
退職給付に係る負債	258,317	266,466
株式給付引当金	55,407	55,315
長期末払金	75,235	78,623
固定負債合計	950,293	967,256
負債合計	3,861,154	3,324,712
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,793,805	2,793,805
利益剰余金	6,351,075	5,874,056
自己株式	△309,269	△309,269
株主資本合計	11,012,716	10,535,697
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,325	101,564
為替換算調整勘定	431,329	361,791
退職給付に係る調整累計額	47,873	44,388
その他の包括利益累計額合計	577,528	507,745
純資産合計	11,590,245	11,043,442
負債純資産合計	15,451,399	14,368,154

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	852,245	1,330,519
売上原価	563,438	947,622
売上総利益	288,806	382,896
販売費及び一般管理費	390,531	433,839
営業損失(△)	△101,724	△50,942
営業外収益		
受取利息	2,801	2,023
受取配当金	60	60
受取賃貸料	534	501
補助金収入	—	9,121
為替差益	10,523	—
その他	778	384
営業外収益合計	14,699	12,090
営業外費用		
支払利息	315	433
支払保証料	382	382
組合投資損失	24,703	—
為替差損	—	4,187
その他	147	303
営業外費用合計	25,550	5,307
経常損失(△)	△112,575	△44,158
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△112,575	△44,158
法人税、住民税及び事業税	1,845	4,425
法人税等調整額	△19,187	△7,549
法人税等合計	△17,341	△3,124
四半期純損失(△)	△95,233	△41,034
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△95,233	△41,034

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純損失(△)	△95,233	△41,034
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,975	3,239
為替換算調整勘定	87,521	△69,538
退職給付に係る調整額	△833	△3,484
その他の包括利益合計	101,663	△69,783
四半期包括利益	6,429	△110,818
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,429	△110,818

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、2020年11月6日開催の取締役会決議に基づき、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度(以下、「本制度」という。)を2020年11月24日より導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、予め当社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした当社の従業員に対し当社株式を給付する仕組みです。当社は、従業員に対し当社の業績等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式等を給付します。従業員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものとします。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末は87,797千円、63,300株、当第1四半期連結会計期間末は87,797千円、63,300株です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	325,650	526,594	852,245
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,081	28	2,110
計	327,732	526,623	854,356
セグメント利益	△60,913	144,298	83,384

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	83,384
セグメント間取引消去	10,655
全社費用 (注)	△195,764
四半期連結損益計算書の営業損失 (△)	△101,724

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	904,528	425,991	1,330,519
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20,648	—	20,648
計	925,176	425,991	1,351,167
セグメント利益	101,115	82,936	184,052

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	184,052
セグメント間取引消去	5,752
全社費用(注)	△240,747
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△50,942

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	42,428千円	53,999千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
水晶デバイス	102,045	93,306	195,351
光学	△12,594	187,701	175,106
電子部品	236,200	213,752	449,952
その他	—	31,834	31,834
顧客との契約から生じる収益	325,650	526,594	852,245
外部顧客への売上高	325,650	526,594	852,245

当第1四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
水晶デバイス	29,803	69,059	98,862
光学	799,724	129,209	928,934
電子部品	75,000	208,485	283,485
その他	—	19,236	19,236
顧客との契約から生じる収益	904,528	425,991	1,330,519
外部顧客への売上高	904,528	425,991	1,330,519

3. 補足説明

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	29,803	29.2
光学装置	799,724	—
電子部品装置	75,000	31.8
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	904,528	277.8
サービス事業		
改造工事	138,068	144.5
部品販売	190,279	59.0
修理・その他	97,642	90.7
サービス事業計	425,991	81.0
合計	1,330,519	156.3

(注) 上記の金額は販売価格によっております。

②受注実績

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)			
	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	254,714	72.8	3,465,180	252.5
光学装置	105,285	5.0	1,510,301	36.4
電子部品装置	1,117,400	190.5	1,825,885	151.4
その他装置	—	—	—	—
真空技術応用装置事業計	1,477,399	48.7	6,801,366	101.2
サービス事業				
改造工事	109,867	68.3	360,479	41.0
部品販売	190,279	58.8	—	—
修理・その他	97,642	90.7	—	—
サービス事業計	397,789	67.2	360,479	41.0
合計	1,875,188	51.7	7,161,845	94.2

③販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	29,803	29.2
光学装置	799,724	—
電子部品装置	75,000	31.8
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	904,528	277.8
サービス事業		
改造工事	138,068	144.5
部品販売	190,279	58.8
修理・その他	97,642	90.7
サービス事業計	425,991	80.9
合計	1,330,519	156.1

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。